

切削・彫刻でコスト減へ

エフ広芸（越谷市）

プラスチック成形加工…新型ルーター機を用いた

短納期で高品質かつ多用途な広告用3D文字の試作開発



量2量ほどの大きさがあるCNCルーター機



カッティングボードやプラスチック、アクリルの立体文字も自由自在

今回の補助金ではルーター機（彫刻機）を導入した。写真上がその機械で、量2量分ほどの大きさのあるCNCルーターSMH1318VSである。

従来、木やプラスチック板、サインボードなどの片抜きは、糸のこぎり状の歯を備えたミシンのような機械を用い、熟練技を要する手作業で行っていた。コンピュータ制御のルーター機を導入することにより、より正確で素早い生産が可能になった。コンピュータに数値を入れれば、基本的にはその数値通りに機

械が動き、切削や彫刻をしてくれる。もちろん、同じ形状のものの複数生産は、格段に手軽になった。

また、従来機ではボード類からの「片抜き」のみだったが、ルーター機では彫

刻も可能になった。刃の種類と、掘る深さや角度を変えられることによって、さまざまな応用ができるのが特徴である。例えば、木彫の看

板やレリーフなども刃を変えてタッチを選んで彫っている。このような彫刻は今まで外部注文していたので、コストカットと納期短縮の両方につながる高機能である。

使い勝手の大変よい機械で、日々へビーローテーションで活用しており、受注拡大に大いに役立っている。

【株式会社エフ広芸】

本社は越谷市平方485。藤井忠行代表取締役社長。1983年設立で、看板を中心に各種屋外サイン、誘導看板、モニメント、POPやバナー、銘板なども手掛ける。「文字が入れば看板」とし、外装・内装や店舗デザインなどもトータルで考える。全国に顧客を持つ業界トップクラスの企業。